

楽友会と他のサークルって 両立できるのかな？



—そんな不安に答えます—

理工学部2年理工学部体育会剣道部

後藤興萌



文学部2年慶早戦支援委員会

松葉璃奈

1

(※このインタビューは、一昨年収録されたものです)

—それじゃ、始めます。よろしくをお願いします。最初にお名前だけお願いします。

後藤：工学部物理学科2年、後藤興萌です。パートはベースです。

松葉：学部心理学専攻2年、松葉璃奈です。パートはソプラノです。

—インタビュアーは鈴木、榊原です。早速ですがお二人はどんな団体と兼サーしているんですか？

松葉：私は、慶早戦支援委員会（以下支援会）という福利厚生団体に入っていて、活動内容としては、慶早戦、通称早慶戦、

後藤：そこ認めちゃうんだ（笑）。

松葉：まあ、一応ね？伝わらないと困る（笑）。メインを春と秋にある東京六大学野球慶早戦に据えながら他のスポーツの慶早戦も運営している感じです。

後藤：僕は理工学部体育会の剣道部（リコタイ）と兼部していて、名前の通り剣道やってます。

—入学した当初から兼サーしようと考えていたんですか？

後藤：僕は初めから兼部は覚悟でいろいろ考えていたかな。ほかの団体とも兼部しようかとすら考えてた。

松葉：私は、一個に絞るのはちょっと…と思ってどこに入ろうか迷っていたけど、もう一つ入ろうと思っていた団体の活動が火木で楽友会と被っていたからそこを諦めた感じ。

後藤：楽友会はもう入る前提だった？

松葉：いや全く（笑）。最初は三味線サークルがめっちゃかっこよくてそっちに入ろうと思って、でも結局元々やってた合唱の方がいいかなと思ってそうしちゃいました。

—まあ複数入ったほうが安心な感じはありますね。

体験練習行ったらかっこよくて雰囲気もジャスト
フィットだったんですよ（笑）。

—ちょっと被りそうですが、どうして兼サー先と楽友会をどっちもやろうと思ったんですか？

松葉：兼サーの理由じゃなくて、具体的に楽友会と兼サー先を選んだ理由だよな？

—そうそう。

松葉：なんだろう、忙しいほうが頑張れる人間だから……。

後藤：ふふっ

松葉：だから、なんだ？まともらなくなってきた。パス！

後藤：はい（笑）。僕は小一から剣道を続けているから、剣道は生涯スポーツってこともあって、生涯続けるならうまく強くなりたいなと思って、大学でも剣道を続けることは考えていたんだよね。

—へ～。

後藤：そこで、體育會とリコタイ（理工学部の體育會）を考えたときに、體育會は週六日の活動で難しいなと思ってリコタイにもともと目はつけていました。それに加えて、中学のころからずっと好きで、大学受験の時とかはずっと聞いていた合唱を大学で本格的に始めてみようかなと思っていたら楽友会の雰囲気がよくて、活動日もちょうどリコタイと被らないから両方できるなって。リコタイはノルマをこなせばよかったから。

—リコタイの活動日って何曜日なの？

後藤：活動自体は火水木土にあって。

—結構かぶってない？

後藤：そう、だけど週二回参加すれば良いから水曜日の放課後と土曜日の午前中の活動に参加して。で、楽友会が火・木曜日の放課後と土曜日の午後でしょ？だからちょうどうまくいける感じで。

松葉：ぴったしだね。

—週二回参加がノルマなのね。

後藤：そう。そこ参加しても月曜と金曜日は完全にオフになるから、バイト入れられると思って。週二で入れるバイトを探して。

松葉：素晴らしい（笑）。私いろいろ思い出してたんですけど。最初は武道やりたくて體育會じゃないところを探してたんだけど飲みサーだと発覚して諦めて、次三味線行こうと思っていたんだけど、楽友会の体験練習に行ったら歌懐かしくなっちゃって……。

—わかる～。

松葉：里帰りのような感じで楽友会入ろうかなってなって。それでもう一個文化系でやろうと考えたら、練習とか必要なところは無理だなって思って。高校生の時に運営とかが好きだったからそういう団体を見て、支援会が結構いい感じで、野球とかよくわからないけどまあ何とかなるでしょうって（笑）。



理工学部 2年 後藤興萌

—高校の時も運営とかやっていたの？

松葉：うん、中一から高二まで文化祭で学校を紹介する部門に入って、そこで新たに企画を立ち上げたりしてた。

—へ～！

後藤：すげ～。合唱が懐かしくなったって言ってたけど、もともと女声合唱やってたんだよね？ワグ女（ワグネル女声合唱団）は見に行かなかったの？

—確かに。

松葉：うん。女声合唱はもういいかなって思っちゃって。

—めちゃくちゃわかる。

松葉：そうだね。母校のOG合唱団もあるから、どうせなら大学では混声合唱やろうかなって思ってる。しかも高校の先輩入ってたしね。体験練習行ったらかっこよくて雰囲気もジャストフィットだったんですよ（笑）。

—あ～それ大事だね。まあとりあえず体験練習にくることですよ（笑）。

後藤：食事会も来たほうがいいと思う。

松葉：確かに。

後藤：そこでよく雰囲気が感じられたし。

—雰囲気が分かったほうがいいよね。

後藤：扎扎实り宣伝していく（笑）。

やりたいことはなんだかんだ忙しくてもやり切れるから、やりたいことするのが一番大事

—兼サーするメリットは何か。ありますか？

後藤：知り合いが増えること。

松葉：ああ～。

後藤：あと、楽友会とリコタイって結構接点がないから、楽友会で抱いた思いをリコタイで吐き出したり、その逆も然りって感じ。あ、あと二つやってるからどっちかの活動に飽ききってしまうことがないこととか。片方飽きてきたかな～って思ったら自然ともう片方の活動に力入れられるし。いいと思う。

—あ、それはいいね。

松葉：なるほどね。私は兼サーをする理由と被るんだけど。最初の人間関係って結構大事じゃん？そしたらやっぱり、一団体にしたときになじめなかったときのことを考えると怖くて。それがいやだったから兼サーしようって思っていて（笑）。マイナスには捉えてほしくないけど逃げ場ができるっていうのは大きいなと思う。



文学部2年 松葉璃奈

—そうだよ。私も兼サーしてるんだけどいまフェードアウトして
いて(笑)。バドミントンのところなんだけど、なんか人間関係つ
ぶしが利くみたいなどころあると思っていて、とりあえず複数入っ
ておくのはいいと思う。

後藤：保険的な？

—そうそう。そっちはすごい仲良くなることもなかったから結局楽
友会一本になってるけど、知り合いはいるにはいるから、過去問が
流れてきたり答え教えてもらえたり(笑)。

松葉：いいね(笑)。

—人脈を広げるって意味では大事。

後藤：うんうん、一番大きいよね、そこ。やりたいことやるっての
もあるけど。

松葉：うん。後はまあ私の場合は忙しいほうが人生楽しいので(笑)。

—そうだよ。

松葉：いやなんか、やりたいことは全部やったほうがいいと思う。

後藤：それは本当に思う。せっかく大学四年間だしね。

—やめることならいつでもできる。でも途中から入るのが難しい。

松葉・後藤：そうそう。

—だから興味あるところはとりあえず入っとくみたいなどころはある。

後藤：大事大事。やりたいことはなんだかんだ忙しくてもやり切れるから、やりたいことするのが
一番大事、と。

やっぱりメリハリをつけていたほうがいいかな って

—週に何日くらい兼サー先に出てる？後藤さんには聞いたから松葉さん？

松葉：私の福利厚生団体は、活動期間が春秋の二つに分かれていて、慶早戦の応援席券販売が二週
間前くらいからあって、あと当日みたいな感じだからその一か月ぐらいが活動期間になってそれ
以外は基本自由。他にもちょこちょこ活動あるけど興萌みたいに週何回行かなくちゃいけない
ってことではなくて、私の場合は、波的な。この時期は楽友会でこの時期は支援会に出るって
感じで調整してるから、平均したら本当に週一以下かな。

—そうか。まあ忙しい波があるよね。楽友会も定期演奏会前は忙しいから。その時期は楽友会にコ
ミットしたほうがいいし。そこは、切り替えてって感じで。

後藤：僕は日曜日に大会とか入ってくるから、週二、三日って感じだけど、まあ平均週二日くら

い。

—楽友会が週三日だから、まあまあできるよね。

松葉：そうね。

—次だ、兼サー先の活動で忙しくなることって、ありますよね？あるとしたら楽友会との兼ね合いはどうしてる？

後藤：試合シーズンが忙しくなるけど、日曜に試合が入ってくるだけだから楽友会の活動を削らなきゃいけないってことはないかな。日曜に活動が被るとちょっと調整が必要になる感じ。」

—そうね（笑）。

松葉：私はさっきも話したけど慶早戦の時期は忙しくて、販売期間になると一年生でも販売シフトがあるから、そうすると楽友会の練習に遅れて行ったりすることはある。」

—ん〜。

松葉：あ、あと三田祭に一年生主体で出店することになって、ちょうど楽友会の秋合宿と被っているからその時期はかなり大変だったんだけど、なるべく両方顔を出すようにはしてたかな。ただ今後ちょっと二年とかになってくると役職とかで一年よりは忙しくなるかも。まあ忙しい方が（笑）。

後藤：ふふっ。

松葉：ってのがあるから。基本的には活動期間が短いからこそ、支援会があるときはなるべく支援会にコミットしようとは思っている。やっぱりメリハリをつけていたほうがいいかなって思っているから。

—楽友会の活動で兼サー先に支障が出たり、その逆があったりしますか？

後藤：あ〜、あるね。

—あるんですか（笑）。

後藤：楽友会は本当に、よく悪くも練習日時がほぼ固定で火木土の午後って決まってるからいけるんだけど、リコタイの場合結構時間が土曜とか午後になったりすることがあって。そうすると楽友会と被っちゃうんだけど、自分の中ではもう土曜の午後は楽友会って決めてるからそうなたらリコタイに行けないし。日曜日でも活動が被ったときは、予定は基本的に三送会とか引退試合とか特別なものじゃない限り早い者勝ちにしてて、楽友会は予定出るのが早いから大体楽友に行くことが多いかな。

松葉：たしかにね。

—そういうどっちを優先するかっていうルールが自分の中であればね。

松葉うん。私も支障ないかといえば無くはないよね。皆さんにご迷惑をおかけしてるかなとも思うんですけど。まあ楽友会の練習日と被っちゃうとやっぱり楽友会のほうが活動日数多いから支援会優先しちゃうし。それで言うと慶早戦とこの間の依頼演奏が被っちゃったから依頼演奏はのれてなくて、もし慶早戦と楽友会のコンサートが被っちゃったら、支援会の役職とかもあるから楽友会の



方を休会したりすることはあるかもしれない。

後藤：なんかそれ怖いね。

松葉：そうそう。なるべく双方に迷惑をかけないように優先順位を決めてって感じね。
—楽友はフォローアップもしっかりしてるから多少なら行けなくても何とかなる。

松葉：自分の頑張り次第で。

後藤：先輩も優しいしね！

—うん、音取り手伝ってくれるよ。

よっ委員長！

一次、兼サーしていても楽友会で役職につけますか。

後藤：役職ってほどのものでもないけど。

—そうだよ。まだ一年目だし。

後藤：僕はオリエン委員をやっています。

松葉：よっ委員長！

後藤：委員長で一す（笑）。この新入生勧誘の取りまとめをやってる感じです。あと前期のフレコン委員は大きな役職だったかも。フレッシュコンサートを、中心になって学年をまとめるやつ。」

松葉：そうだね、そんな感じか。私は日吉責任者と定期演奏会の広報物をつくる、プログラム委員長かな。

後藤：よっ委員長！応援してまーす。日吉責任者の話すれば？

松葉：仕事内容の話でいいのかな？

—お願いしまーす。

松葉：メインは部室管理で、あとは練習場が日吉だと場所取りしているけど、二人で分担してほとんどもう一人の方が（笑）。

—とくに今の期間は兼サーしていて困ることはない？

松葉：うん、そうだね。あ、あと今の期間は六連編集委員があるか。六連定演（東京六台楽野球のパンフレットの編集をしています。でもこれも二人でやっているからね。

—ああ、そうか。

松葉：兼サー先は？

後藤：兼サー先はプー（無職）かなって。なんか面倒くさいというわけでもないけど、日数とか全然いけてないし、個人的にもう少し楽友会にコミットしたい気もするから。

松葉：支援会は二年から全員役職があって、まあ私は忙しめではあるかも。

—まあ役職に就くのは可能って事ね。

松葉：自分次第だね。身が引き締まるわ。

気になるものがあるなら見たうえで楽友会に

—最後に言いたいことありますか？

松葉：さっきも言ったけど、やりたいことをやるなら時期的にはこの入学の時期って手軽でいいと思うから、やりたいことはこの時期に始めるのがいいと思うし、なんか、別にそこでちょっと失敗したなって思っても全然やり直せるし。やっぱり入りたいものには入って、やりたいことをやってほしいね。院まで行く人もいるけど基本四年間しかない大学生活ですから。

—サークルってなると四年間だよな。

松葉：うん、それに高校の時の部活とサークルってだいぶ違うから、コミット率とか、例えば楽友会だったら全然変えられるじゃん？だから本当に、そういう面も理解したうえでやりたいことをやってほしいなと思います。そしてもちろん楽友会にも来てほしいし、支援会にも是非……（笑）。

後藤：楽友会の宣伝をせえ（笑）。

松葉：いや、楽友会も大好きだよ！やっぱり支援会だけではできない経験ってあるし、毛色の違うものに二個入ってたほうが私はいいと思う。

後藤：それは思う。

—できる人間関係もかなり違うよね。

松葉：うん。

—なんかありますか、言いたいこと。

後藤：とりあえず気になるものは見たほうがいいなって思う。今の話にも通じるけど。気になるものがあるなら見た上で楽友会に入ってほしい。多分楽友会の先輩は親身になって話聞いてくれるし。僕はそういうところに魅かれて楽友会に入ったのもあるかな。すぐ、楽友会！って言ってもらえるのも嬉しいけど、色々見た上で楽友会を選んでくれた方が今後のモチベーションにつながると思う。

—そうだね。そう思う。

後藤：あと、兼サーするうえで大きい不安要素って金銭面だと思うんだけど、俺も楽友会とリコタイをやるうえで、合宿とかあると結構お金かかっちゃうし不安だったんだけど、大学生と高校生の金銭感覚ってすごい違くて、一か月に出入りするお金は万単位なのも普通だから、意外とそこはどうかなるってことは頭に入れておいたほうがサークルとか選びやすいと思う。

松葉：なるほどね。一人で悩まずに、誰かに相談してみるのって結構いいと思うから。

後藤：楽友会の人、結構兼サーしてるし。

松葉：うん。ぜひお近くの楽友人にお声がけしていただければなって思います。こんな感じですかね（笑）

後藤：リコタイもよろしくお願いします。

—楽友会の宣伝ですこれは。

松葉：楽友会への愛が強いからこそですよ！私たち兼サーってことだから、楽友会と一緒にってこ

とですから（笑）って思います。

後藤：って思います。

松葉：そんなかんじですか。

—はい、ありがとうございました。

後藤・松葉：ありがとうございました。